

## 小論文グランプリ応募に関するQ & A（令和8年度版）

### Q1 【小論文】を書くことで、どんな力が付くのですか？

「小論文」とは、あるテーマ（主題）に沿って自分が考えたことを、説得力をもって読み手に伝えていく文章です。そのためには自分の考えの根拠を明らかにし、順序を考えて文章を組み立てるといった論理的思考力が求められます。それ以外にも、読解力、表現力、独創力、構成力など、総合的な学力が身に付くこととなります。

### Q2 対象学年は？

京都府内（京都市を除く）の中学校第3学年又は第2学年、義務教育学校後期課程第9学年又は第8学年です。

### Q3 どんなことを書けばいいのですか？

「学び」（学習、活動、体験等）によって気付いたこと、向上したことです。教科・領域で学習又は体験した内容を題材とします。ただし部活動は対象外です。以下の3分野から選んでください。

- (1) A分野（国語、社会、数学、理科、外国語）
- (2) B分野（音楽、美術、保健体育、技術・家庭）
- (3) C分野（道徳、特別活動、総合的な学習の時間）

### Q4 学校で何点まで提出できるのですか？

学校規模に応じて数が異なります。以下の数の文集作品を綴じて応募してください。

- ・ 全校生徒 400人以上の学校 … 5点以上 15点以下
- ・ 全校生徒 200人以上 400人未満の学校 … 5点以上 12点以下
- ・ 全校生徒 200人未満の学校 … 5点以上 9点以下

※令和8年4月1日現在の全校生徒数を基準として確認ください。

### Q5 文集作品は応募せずに個人作品の部だけに応募できますか？

できません。応募は学校ごとの文集の作品です。個人作品の審査は文集作品の中から（様式1）で希望があった作品がエントリーされます。各校から3分野（A、B、C）各1点まで、合計3点までエントリーできます。

### Q6 提出するとき注意することは？

作品は、A4サイズ400字詰め原稿用紙3枚（1,000字から1,200字）に書き提出してください。「1,000字から…」の文字数については、原稿用紙3枚目の半分（10行め）まで書かれているかどうかで判断します。

題名・学校名・学年・氏名は、原稿用紙1枚目の右端（余白）に必ず明記するようにしてください（原稿用紙の升目内には書きません）。

### 注意！

※応募された個人作品・文集作品とも返却はできませんので御了承ください。

※作品は未発表で自作のものに限ります。

※作品の書き方等の詳細については、昨年度「入賞作品集」冊子の資料「小論文の意義・小論文を書くための手引き」を参考にしてください。